

令和元年度 竜王町教育委員会の権限に属する事務の 管理および執行状況の点検および評価にかかる報告書の概要

1 点検・評価の位置づけ

平成 20 年 4 月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正施行を受け、竜王町教育委員会では、毎年 6 月から 8 月の間に、前年度における教育委員会の権限に属する事務の管理および執行状況の点検および評価を実施しています。そして、評価結果をとりまとめ、9 月定例議会中に議会に報告するとともに、ホームページ等を用いて住民の皆様公表する方針を平成 21 年度に決めました。（今年度は町議会議員選挙のため 9 月定例会が 8 月開催となります。）

このことを踏まえ、平成 30 年度教育委員会活動をはじめとする「平成 30 年度竜王町教育行政基本方針」に基づく事務について、点検および評価を実施しましたので概要を報告いたします。

2 具体的な取組の経過

4 月 ・ 定例教育委員会で評価委員 3 名の承認（任期：平成 31 年 4 月 1 日から 2 年間）

氏 名	分 野	所 属 等
河口 眞佐男	学識経験	国立大学法人滋賀大学教職大学院教授 滋賀次世代文化芸術センター運営委員
大谷 五十二	学校教育	小学校英語教育学会（JES）理事 びわこ学院大学非常勤講師
飯村 悟	社会教育	近江八幡・竜王少年補導委員会会長 竜王町社会教育委員

5 月 ・ 教育委員会 各所属における所掌事務の一次評価実施とその集約

「教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務」

6 月 ・ 定例教育委員会開催 一次評価の全体協議

7 月 ・ 第 1 回 事務評価委員会 7 月 3 日（水）開催

委員長に河口眞佐男氏、副委員長に大谷五十二氏を選任

・ 第 2 回 事務評価委員会 7 月 24 日（水）開催

「令和元年度竜王町教育委員会事務評価にかかる二次評価」を取りまとめる。

・ 定例教育委員会を開催し最終確認

3 点検・評価の対象

「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務」の 3 項目。平成 30 年度竜王町教育行政基本方針にある 8 つの重点目標と、具体的に取り組んだ 31 の重点施策について点検・評価を実施しました。

4 総括

事務事業評価に係る外部委員については、平成 29 年度から 2 年間委員を務めていただいた 3 名の方に引き続きお願いしました。

また、評価の実施については、「竜王町教育委員会事務点検および評価要領」に従い、教育委員会の承認を経て実施しました。

一次評価は、昨年度と同様 S 評価を最上位として位置付け、以下 A、B、C、D で評価しました。特に今年度は評価のレベル感に対するベクトルを合わせて評価するように内部協議を進めてきました。具体的には S は全国に照らし合わせて相当の評価ができる項目、A については県に照らし合わせて相当の評価ができる項目としました。その結果、今年度 S と評価できる項目はありませんでしたが、A 評価が 34 項目、率にして 71%、B 評価が 14 項目、率にして 29% となりました。なお、C と D については、昨年度、今年度とも 0 でした。ちなみに昨年度は、竜王方式の学校支援ボランティアシステムとして国からも注目された「学校支援地域本部事業と公民館の連携による地域づくりや人材育成」の項目を S 評価としていました。

以上のようなことも踏まえて外部委員の皆様からは、適切に一次評価ができていると認めていただきました。

また、委員の皆様から、一次評価を B とした項目については必ず改善点を記載するとともに、A 評価であっても更なる高みをめざす必要のある項目については、工夫や改善点、改良点を掲載しているの、具体的に記載した内容については、今年度下半期や次年度早々の取組にしっかりと活かしてほしいとのご意見をいただきました。評価を評価で終わらせないためにも、改善点や改良点を明確にして着実に取り組んでまいりたいと思います。

二次評価は、3 名の外部委員の皆様は、全ての分野にわたって高所大所からご意見をいただくという形で評価していただきました。「二次評価について」と題した委員長報告では、毎学期の全校園への訪問、町費の講師や加配、支援員配置によるきめ細やかな指導、就学前から中学までの一貫した英語教育の充実、児童生徒のう歯率県内一の低さを誇る健やかな体の育成、学校現場における業務改善の推進、町公民館図書館の積極的な取組等について高い評価をいただきました。今後もキラリと光る竜王教育の具体的な取組として、継続発展できるよう努力していきたいと思います。

一方、全国レベルに匹敵する確かな学力の育成、児童生徒の自主性、主体性を育む取組、安全安心を一丁目一番地とする通学路の安全確保と生命尊重に基づく安全教育、防災教育の推進、保育ニーズが一層高まっていることを踏まえた幼稚園における預かり保育の充実、学校と地域が双方向に連携協働する地域学校協働活動の推進、スポーツライミング中でもボルダリングの普及啓発と大会が開催できるウォールの設置、アスリートの育成に向けた積極的な取組、各種事業やイベント参加者の裾野拡大等について、様々ご意見やアイデアをいただきました。すぐにでも取り組めることについては、早速着手するとともに、今年度の下半期や来年度の取組にしっかりと活かしていきたいと思います。

結びに、本点検および評価を PDCA サイクルの重要な C (チェック) の機会と捉え、竜王町教育の更なる充実、発展をめざして次の A (アクション) をしっかりとおこし、「キラリと光る教育」で竜王の人づくり・まちづくりに貢献していきたいと思います。